

みなさん、おはようございます。〈元気の良い、返事が返ってきて、とっても嬉しいです。〉

38日間の長い夏休みも終わり、いよいよ、今日から2学期が始まります。

1学期の終業式の日、「この夏休み、1日、1日、毎日、少しずつ、小さいことを続けてほしい」

「夏休みの宿題や1学期の復習、自由研究などを、毎日、少しずつ続けてほしい」とお話ししましたが、みなさん、どうですか？ できましたか？ 小さなことの積み重ねが大きな力になると校長先生は思います。夏休みだけでなく、これからの学校での生活やお家でも、しっかり目標をもって、少しずつ毎日、頑張ってみましょう。

さて、2学期は一年で一番長い学期です。皆さんが登校する日数は、今日も含めて81日あります。また、2学期には、運動会や校外学習、5年生は林間学習、など学校の行事もたくさんあります。

これらの行事は、一人だけでなく、みんなといっしょに、みんなと力を合わせて行く行事です。クラスや学年、あるいはブロックで、話し合ったり、練習したりすることが増えます。その際には、クラスや学年のみんなと互いに助け合い、認め合うことを大切に取り組んでほしいと思います。そして、人を育てる「3つのあ」に加えて、2学期に頑張してほしいことが1つあります。

それは、「思いやり」です。

校長先生には、心に残る広告があります。今から10年以上前に流れていたテレビ広告です。「見える気持ちに」(2010年制作)というテーマでした。

「こころ」は だれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える  
「思い」は見えないけれど 「思いやり」は だれにでも見える  
その気持ちをカタチに というものでした。

これは詩人、宮澤章二さんの「行為の意味」という題の詩からの言葉です。

その詩の原文がここにあるので読んでみます。

当時のテレビ広告を用意しました。今から流したいと思いますので、静かにみてください。

皆さんの心の中には温かで純粋な思いやりの心がありますが、それはいつも見えている心ではありません。しかし、たった一言の言葉がけで心づかいが見えることがあります。言葉をかけることが苦手な人は、ほほ笑みかけるだけでも思いやりは伝わります。そっと手を貸す、黙ってそばにいてあげる……小さな行為ですが、あたたかな心づかいが伝わる姿です。

「こころ」は見えないけれど、「心づかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」は見える。その気持ちをカタチに

短い言葉ですが、この言葉を忘れずに行動することができたならば、皆さんのまわりにいる人たちはだれもが温かい気持ちになれると思います。

2学期の行事を進めていく中で、クラスや学年で取り組むことが増えてますが、その際には、クラスや学年のみんなと互いに助け合い、認め合いながら、素直で、思いやりのある行動を大切に取り組んでほしいと思います。

579人のみなさんと先生方の力を合わせて、久世小学校のすごい力を発揮する2学期にしていきましょう。

これで、校長先生の話が終わります。

令和5年8月28日